

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査結果

○調査概要

対象者：市内に居住する65歳以上の高齢者のうち、一般高齢者、
要支援1・2の認定者

（「一般高齢者実態調査」対象者を除く）

サンプル数：3,000人（日常生活圏域の人口割合に応じて抽出）

回答者数：1,874人（回答率：62.5%）

調査方法：質問用紙による郵送方式

調査期間：令和5年2月17日から令和5年3月10日まで

区分	配布数	回答数	回答率
一般高齢者	2,800	1,751	62.5%
要支援1	100	60	60.0%
要支援2	100	63	63.0%
合計	3,000	1,874	62.5%

No.	日常生活圏域	区分	配布数	回答数	回答率	No.	日常生活圏域	区分	配布数	回答数	回答率
1	郡山北部	一般高齢者	135	95	70.4%	11	三穂田	一般高齢者	51	19	37.3%
		要支援1	5	2	40.0%			要支援1	4	2	50.0%
		要支援2	5	2	40.0%			要支援2	4	4	100.0%
		合計	145	99	68.3%			合計	59	25	42.4%
2	郡山中央	一般高齢者	151	73	48.3%	12	片平	一般高齢者	61	34	55.7%
		要支援1	6	5	83.3%			要支援1	4	1	25.0%
		要支援2	6	4	66.7%			要支援2	4	1	25.0%
		合計	163	82	50.3%			合計	69	36	52.2%
3	郡山南部	一般高齢者	208	132	63.5%	13	喜久田	一般高齢者	84	49	58.3%
		要支援1	6	3	50.0%			要支援1	5	5	100.0%
		要支援2	7	4	57.1%			要支援2	4	4	100.0%
		合計	221	139	62.9%			合計	93	58	62.4%
4	郡山西部	一般高齢者	113	75	66.4%	14	日和田	一般高齢者	84	54	64.3%
		要支援1	5	1	20.0%			要支援1	4	1	25.0%
		要支援2	5	4	80.0%			要支援2	4	4	100.0%
		合計	123	80	65.0%			合計	92	59	64.1%
5	芳賀・小原田	一般高齢者	180	103	57.2%	15	西田	一般高齢者	46	29	63.0%
		要支援1	5	2	40.0%			要支援1	4	3	75.0%
		要支援2	6	2	33.3%			要支援2	4	4	100.0%
		合計	191	107	56.0%			合計	54	36	66.7%
6	富田	一般高齢者	273	186	68.1%	16	富久山	一般高齢者	260	163	62.7%
		要支援1	6	5	83.3%			要支援1	6	5	83.3%
		要支援2	6	3	50.0%			要支援2	6	3	50.0%
		合計	285	194	68.1%			合計	272	171	62.9%
7	大槻	一般高齢者	105	72	68.6%	17	湖南	一般高齢者	53	26	49.1%
		要支援1	4	2	50.0%			要支援1	4	3	75.0%
		要支援2	4	2	50.0%			要支援2	5	4	80.0%
		合計	113	76	67.3%			合計	62	33	53.2%
8	逢瀬	一般高齢者	50	30	60.0%	18	熱海	一般高齢者	78	39	50.0%
		要支援1	4	3	75.0%			要支援1	4	1	25.0%
		要支援2	4	3	75.0%			要支援2	4	4	100.0%
		合計	58	36	62.1%			合計	86	44	51.2%
9	大成・大槻東	一般高齢者	219	158	72.1%	19	田村	一般高齢者	186	117	62.9%
		要支援1	6	3	50.0%			要支援1	5	3	60.0%
		要支援2	6	3	50.0%			要支援2	5	2	40.0%
		合計	231	164	71.0%			合計	196	122	62.2%
10	安積	一般高齢者	300	177	59.0%	20	郡山東部 ・中田	一般高齢者	163	120	73.6%
		要支援1	7	6	85.7%			要支援1	6	4	66.7%
		要支援2	6	3	50.0%			要支援2	5	3	60.0%
		合計	313	186	59.4%			合計	174	127	73.0%

○調査結果内容

厚生労働省「見える化システム」による

※見える化システムによるデータは、65歳以上の高齢者人口、調査人数、回答者数、回答率、各質問項目への回答内容等により推計される割合となっており、実際の回答者数や割合とは異なります。

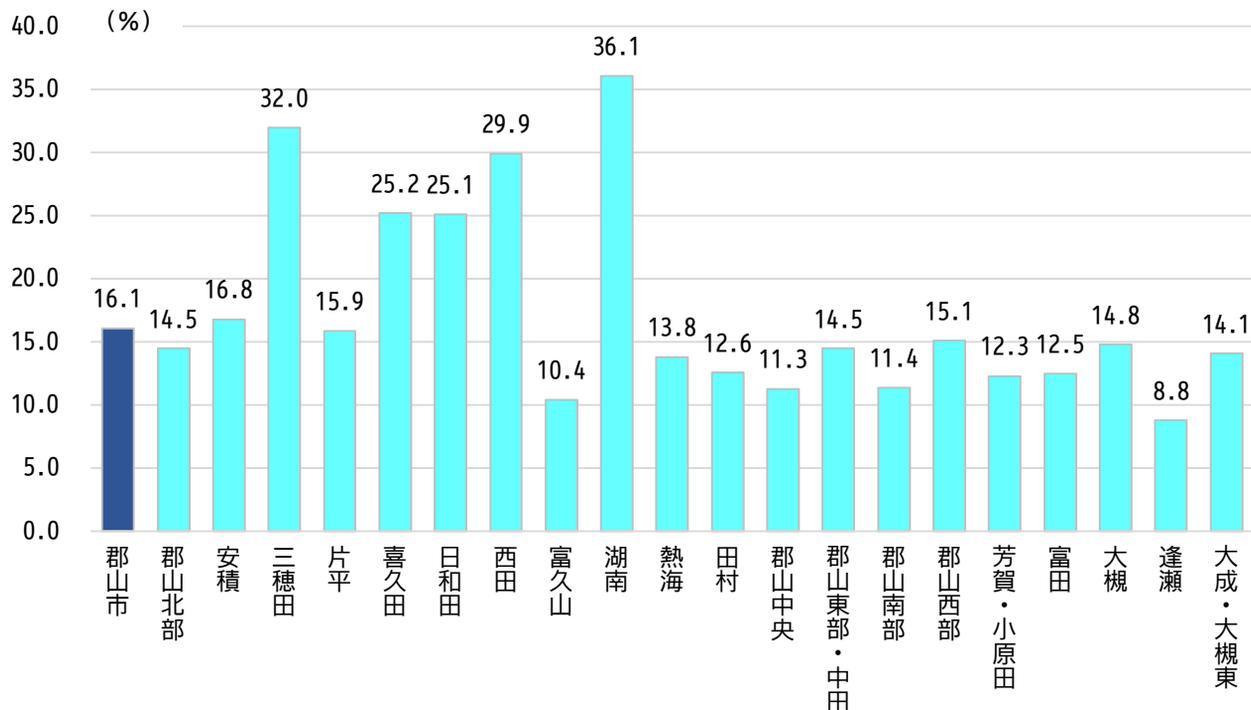
※国から8月に推計ツール確定版が提供される予定です。

現時点では推計ツール暫定版の数値となります。

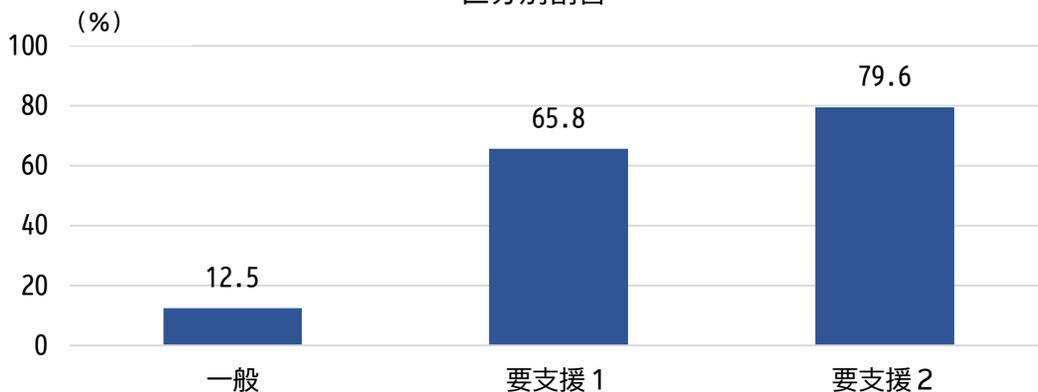
1. 運動器機能リスク高齢者の割合
2. 栄養改善リスク高齢者の割合
3. 咀嚼機能リスク高齢者の割合
4. 閉じこもりリスク高齢者の割合
5. 認知症リスク高齢者の割合
6. うつりリスク高齢者の割合
7. IADLが低い高齢者の割合
8. 転倒リスク高齢者の割合
9. 2016年度・2019年度調査結果との比較
10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について

1. 運動器機能リスク高齢者の割合【暫定版】

運動器機能リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



区分別割合



運動機能リスク高齢者の割合は、当該地域内の「運動機能リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

下記の設問・選択肢で3問以上選択した場合が該当

問2（1）階段を手すりや壁を伝わずに上っていますか 「3.できない」

問2（2）椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか 「3.できない」

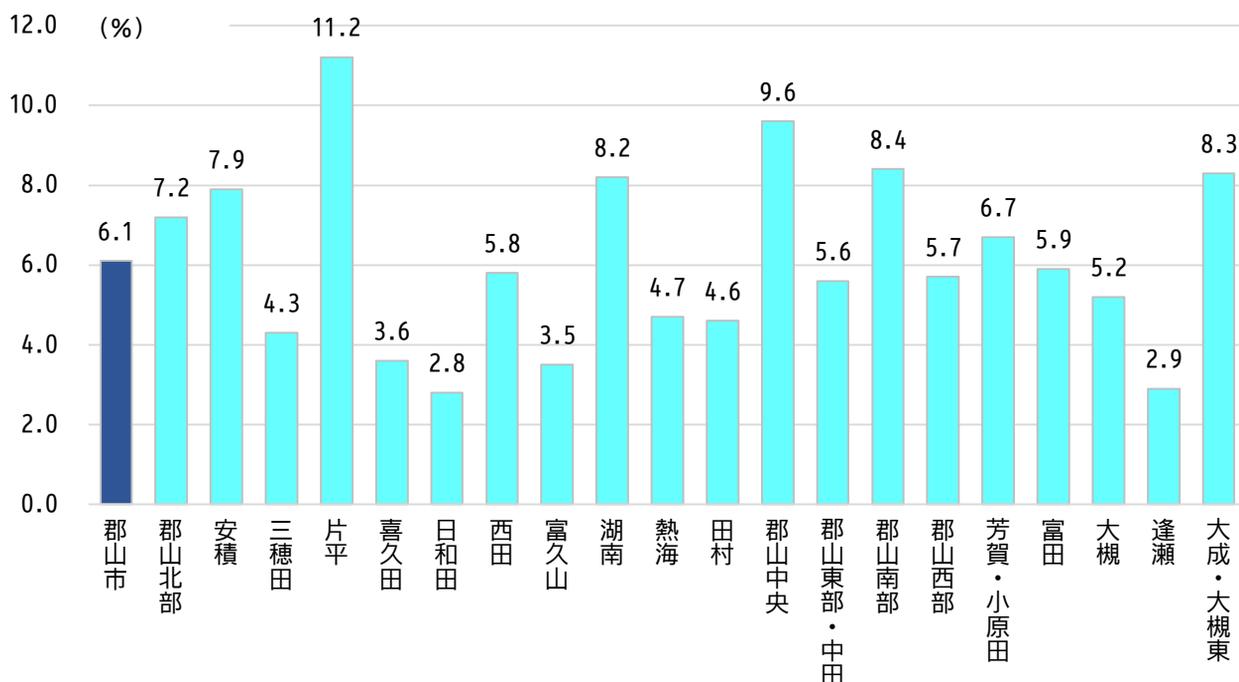
問2（3）15分くらい続けて歩いていますか 「3.できない」

問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか 「1.何度もある」 or 「2.1度ある」

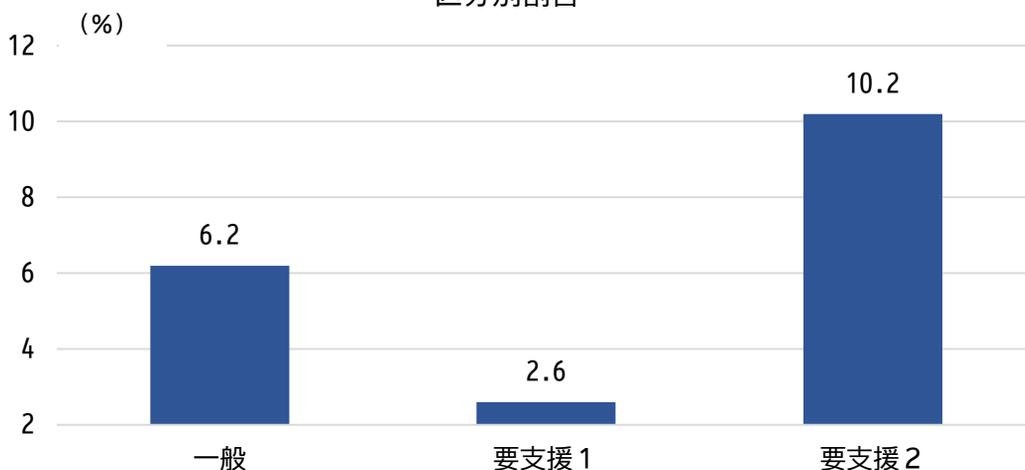
問2（5）転倒に対する不安は大きいですか 「1.とても不安である」 or 「2.やや不安である」

2. 栄養改善リスク高齢者の割合【暫定版】

栄養改善リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



区分別割合



栄養改善リスク高齢者の割合は、当該地域内の「栄養改善リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

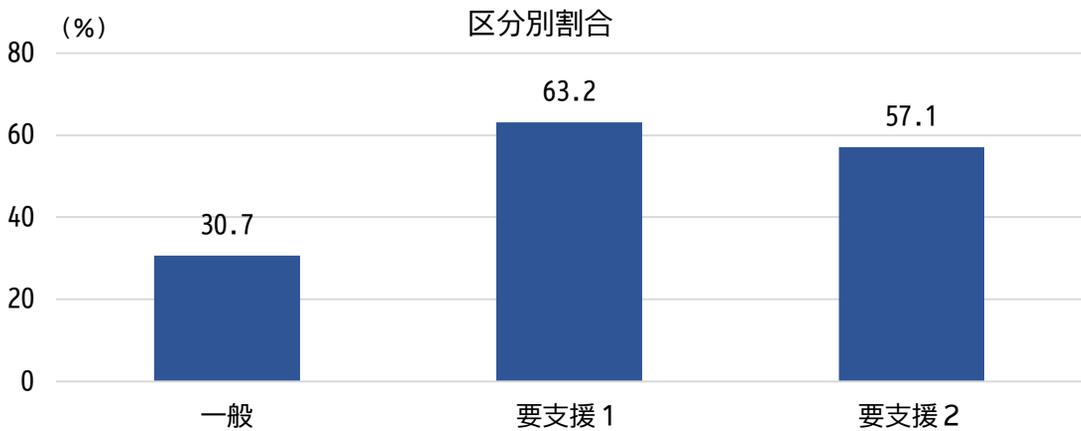
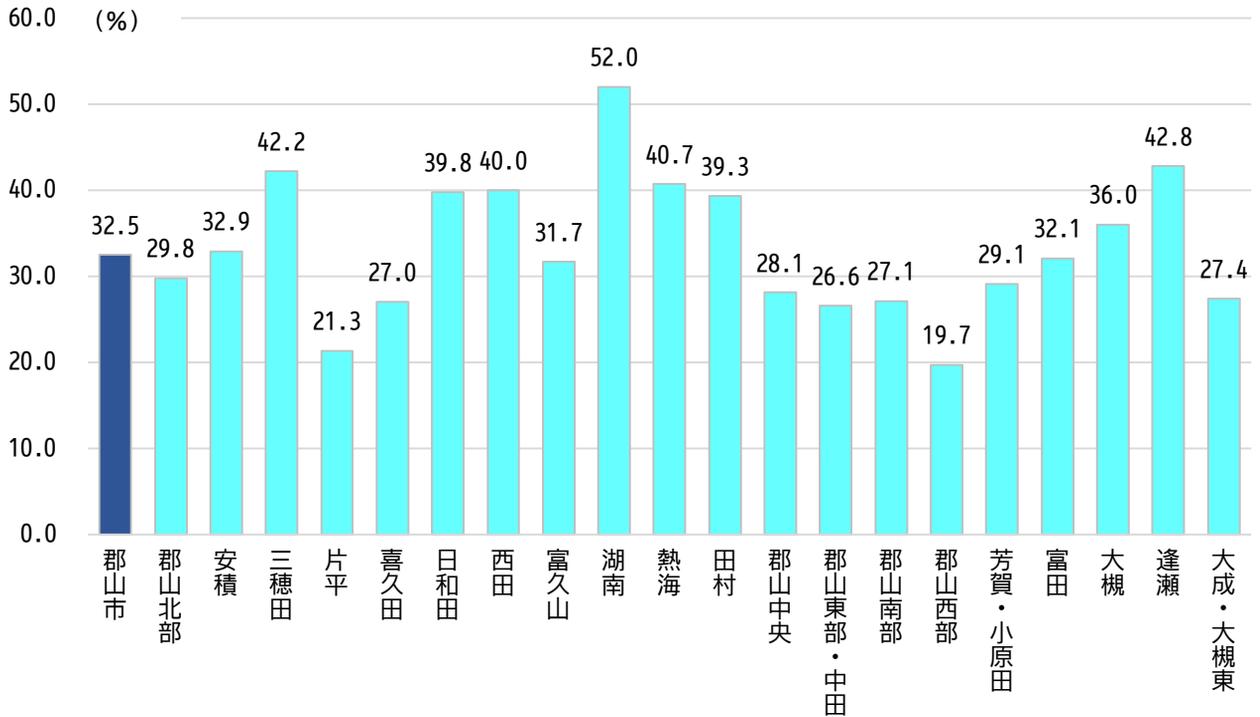
下記の設問・選択肢のいずれにも該当した場合が該当

問3（1）BMI（体重（kg）÷{身長（m）×身長（m）}）< 18.5

問3（7）6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか 「1.はい」

3. 咀嚼機能リスク高齢者の割合【暫定版】

咀嚼機能リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



咀嚼機能リスク高齢者の割合は、当該地域内の「咀嚼機能リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

下記の設問・選択肢の2つ以上を選択した場合が該当

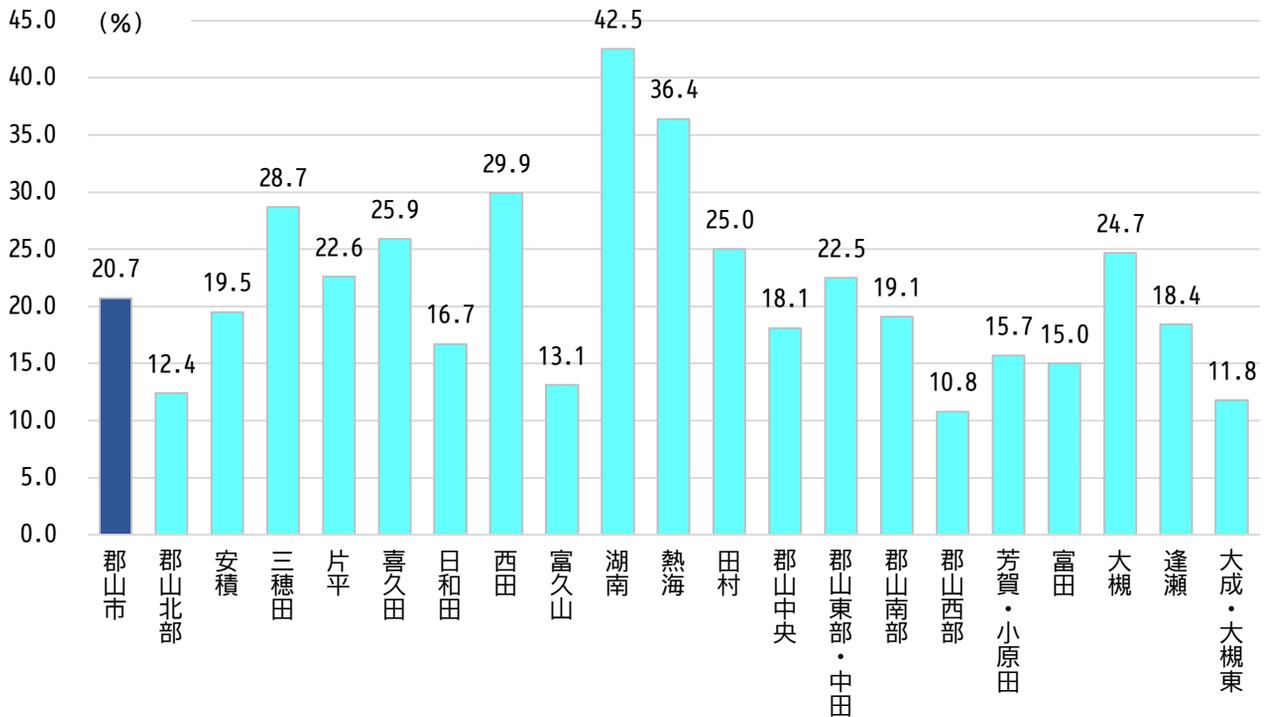
問3（2）半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか 「1.はい」

問3（3）お茶や汁物等でむせることがありますか 「1.はい」

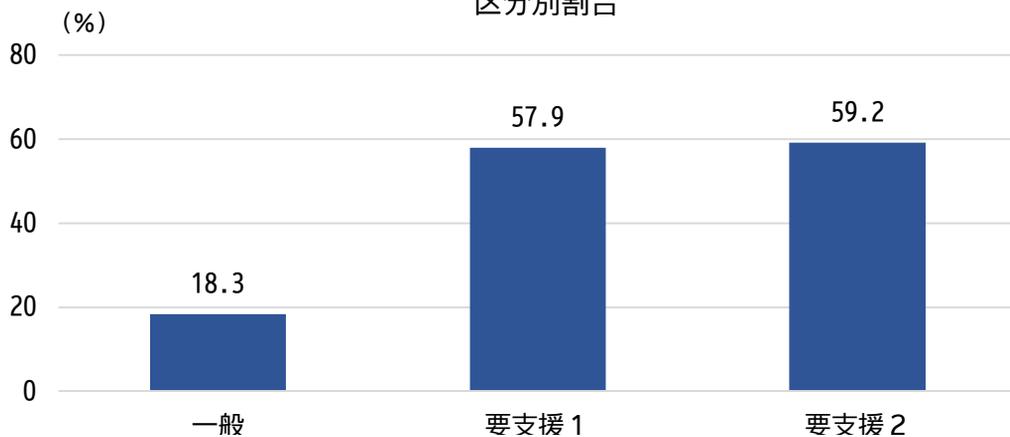
問3（4）口の渇きが気になりますか 「1.はい」

4. 閉じこもりリスク高齢者の割合【暫定版】

閉じこもりリスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）



区分別割合



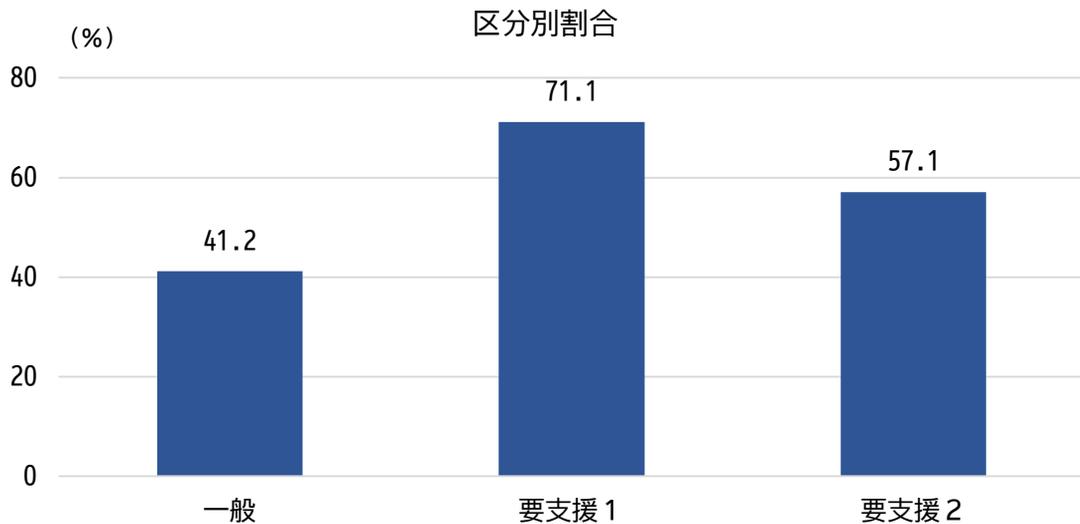
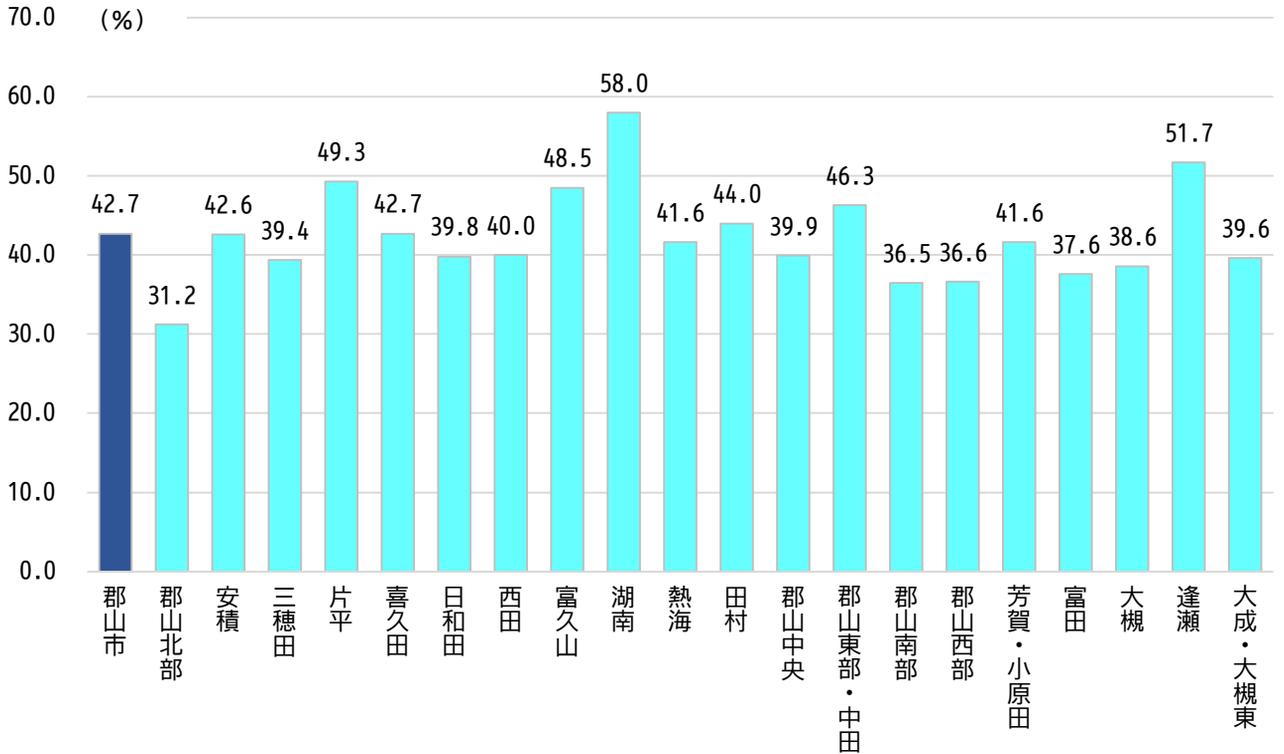
閉じこもりリスク高齢者の割合は、当該地域内の「閉じこもりリスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

問2（6）週に1回以上は外出していますか

「1.ほとんど外出しない」or「2.週に1回」に該当する場合は該当

5. 認知症リスク高齢者の割合【暫定版】

認知症リスク高齢者の割合（一般高齢者、要支援1、要支援2）

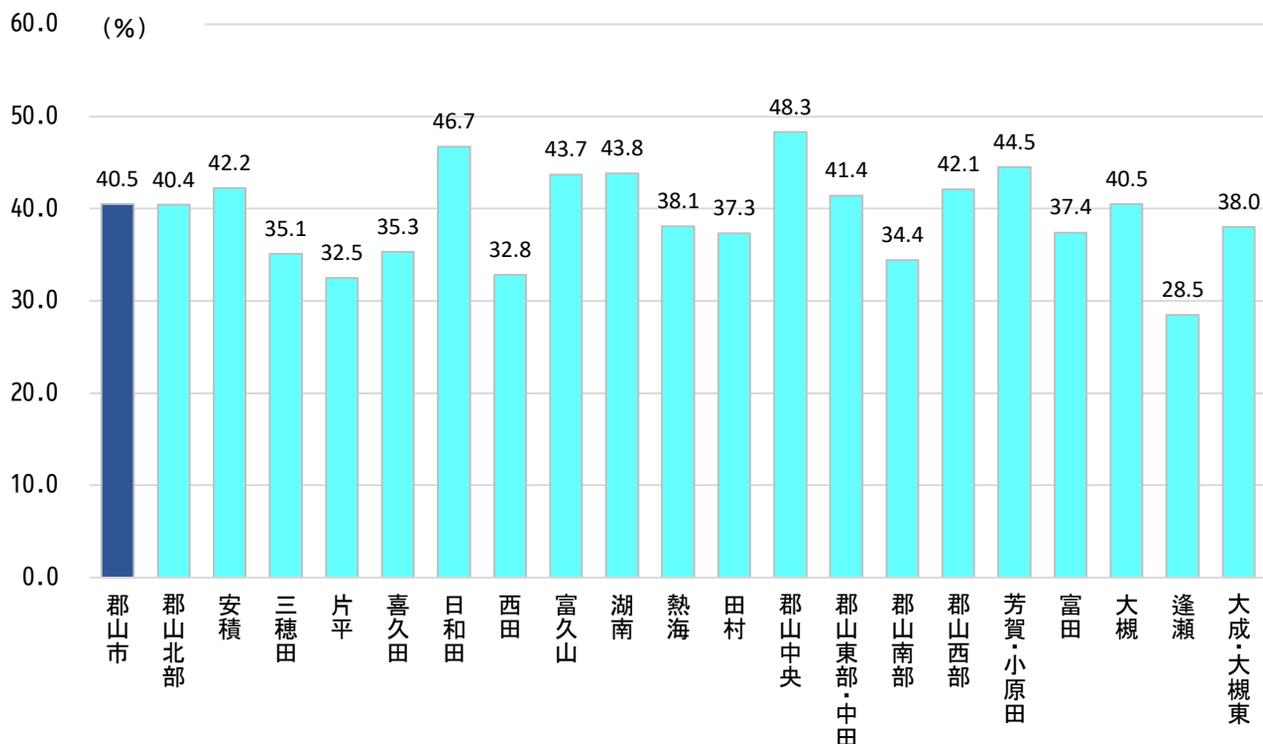


認知症リスク高齢者の割合は、当該地域内の「認知症リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

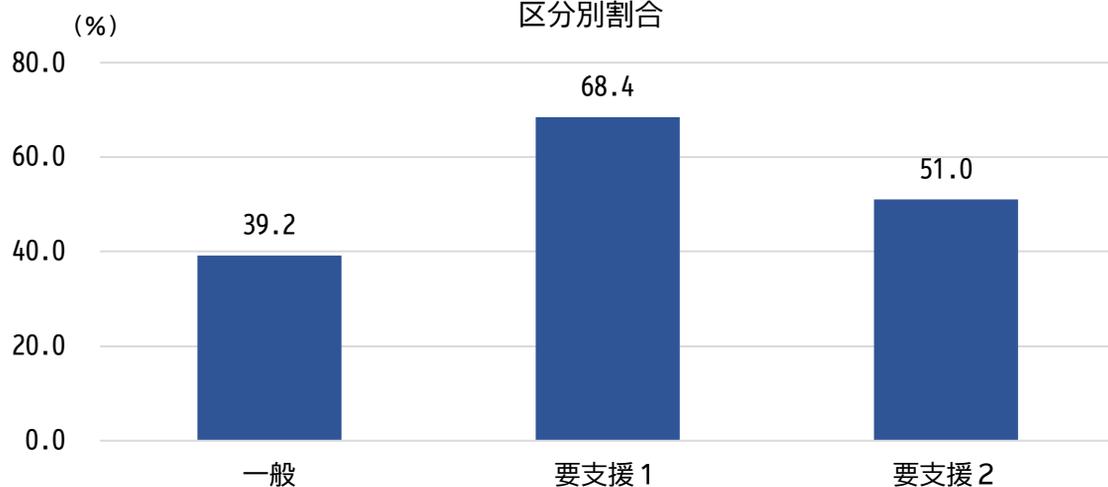
問4（1）物忘れが多いと感じますか 「1.はい」に該当する場合は該当

6. うつリスク高齢者の割合【暫定版】

うつリスク高齢者の割合



区分別割合



うつリスク高齢者の割合は、当該地域内の「うつリスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

下記の設問・選択肢でいずれか1つでも選択した場合は該当

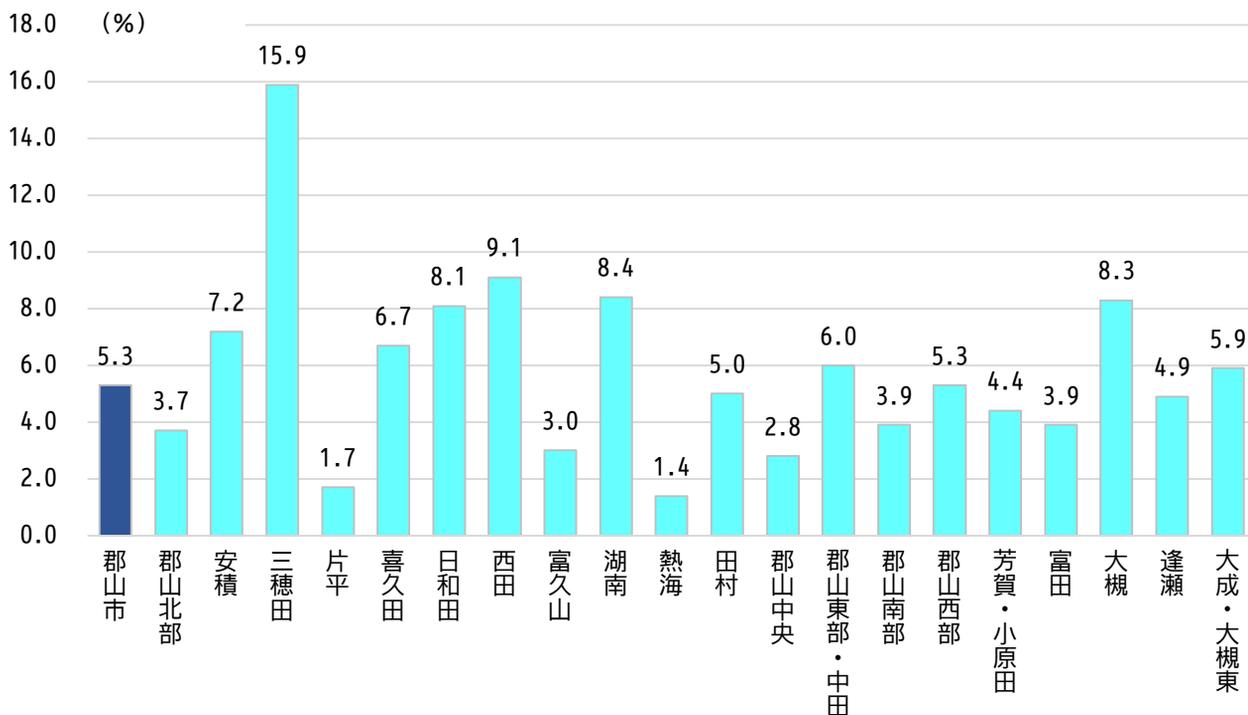
問7(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか 「1.はい」

問7(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか 「1.はい」

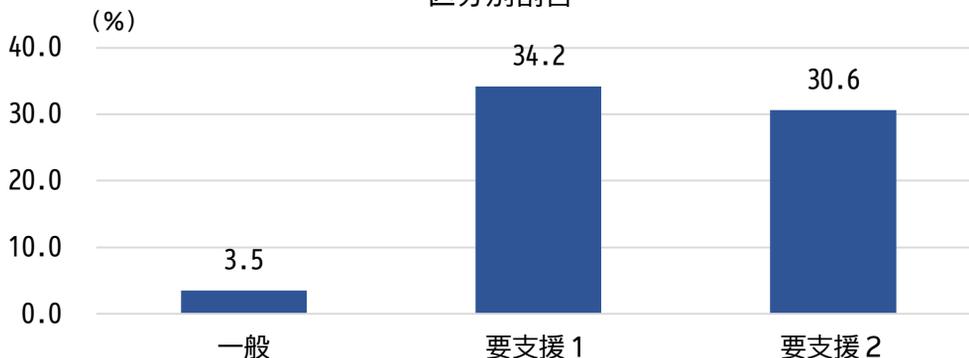
7. IADLが低い高齢者の割合【暫定版】

※ IADL：手段的日常生活動作（instrumental activity of daily living）の略
 買い物、調整、電話、財産管理、乗り物等の日常生活上の複雑な動作がどの程度可能かを示す指標

IADLが低い高齢者の割合



区別別割合



IADLが低い高齢者の割合は、当該地域内の「IADLが低い高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

下記の設問・選択肢を選択した場合を1点とし、3点以下で該当

問4 (4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」

問4 (5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」

問4 (6) 自分で食事の用意をしていますか

「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」

問4 (7) 自分で請求書の支払いをしていますか

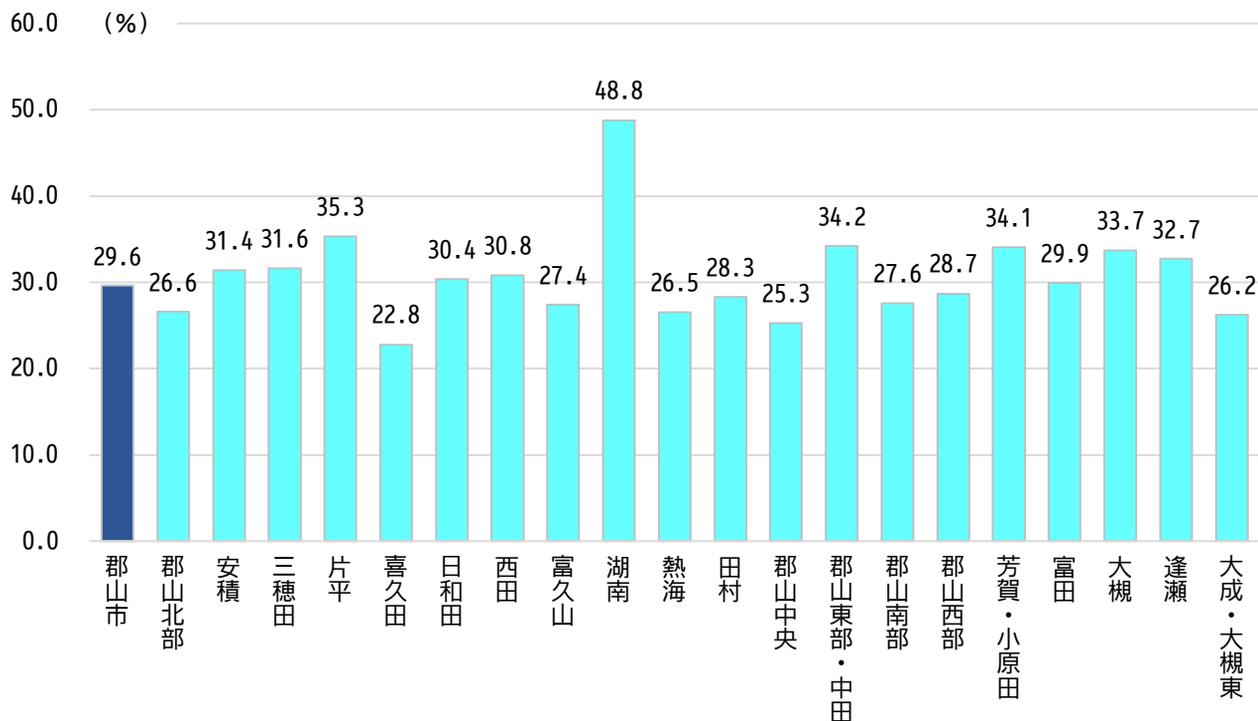
「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」

問4 (8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

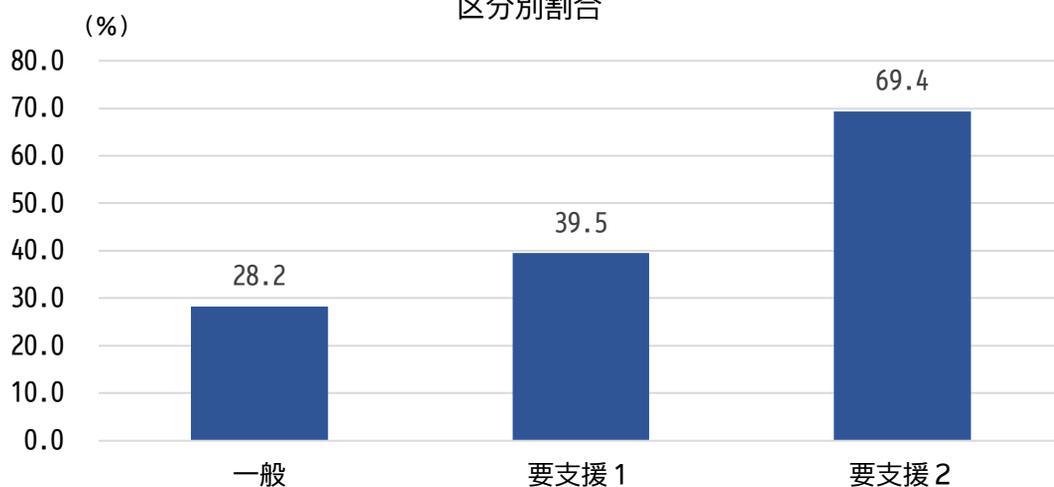
「1.できるし、している」or「2.できるけどしていない」

8. 転倒リスク高齢者の割合【暫定版】

転倒リスク高齢者の割合



区分別割合



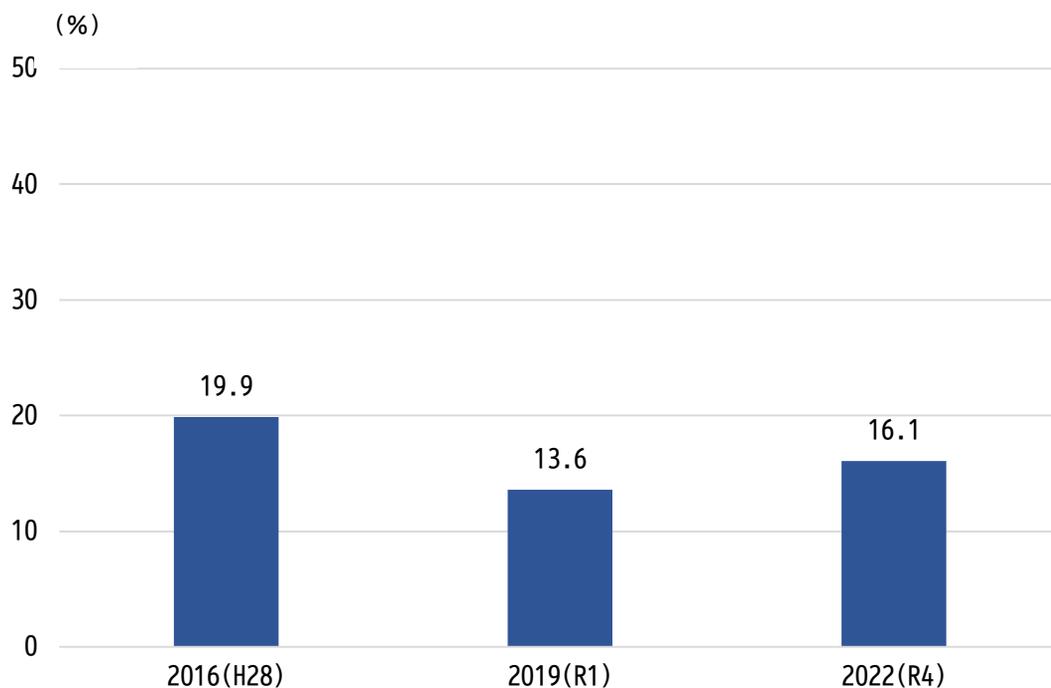
転倒リスク高齢者の割合は、当該地域内の「転倒リスク高齢者」（推計値）を、当該地域内の「要支援2以下の高齢者数」で除したものを意味します。

問2（4）過去1年間に転んだ経験がありますか

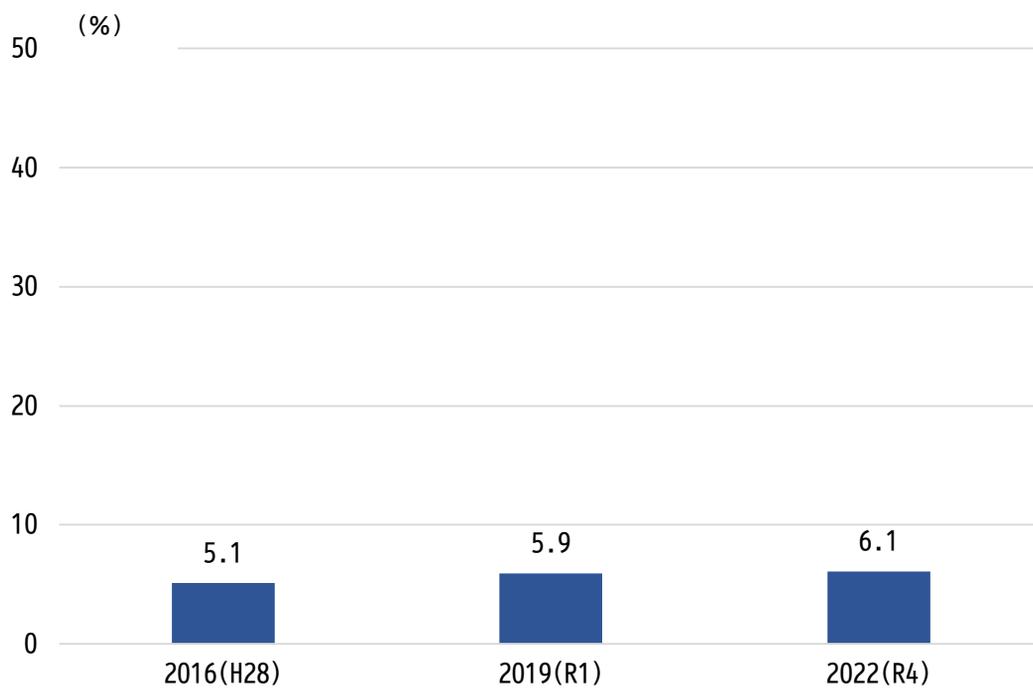
「1. 何度もある」 or 「2. 1度ある」に該当する場合は該当

9. 2016年度・2019年度調査結果との比較【暫定版】①

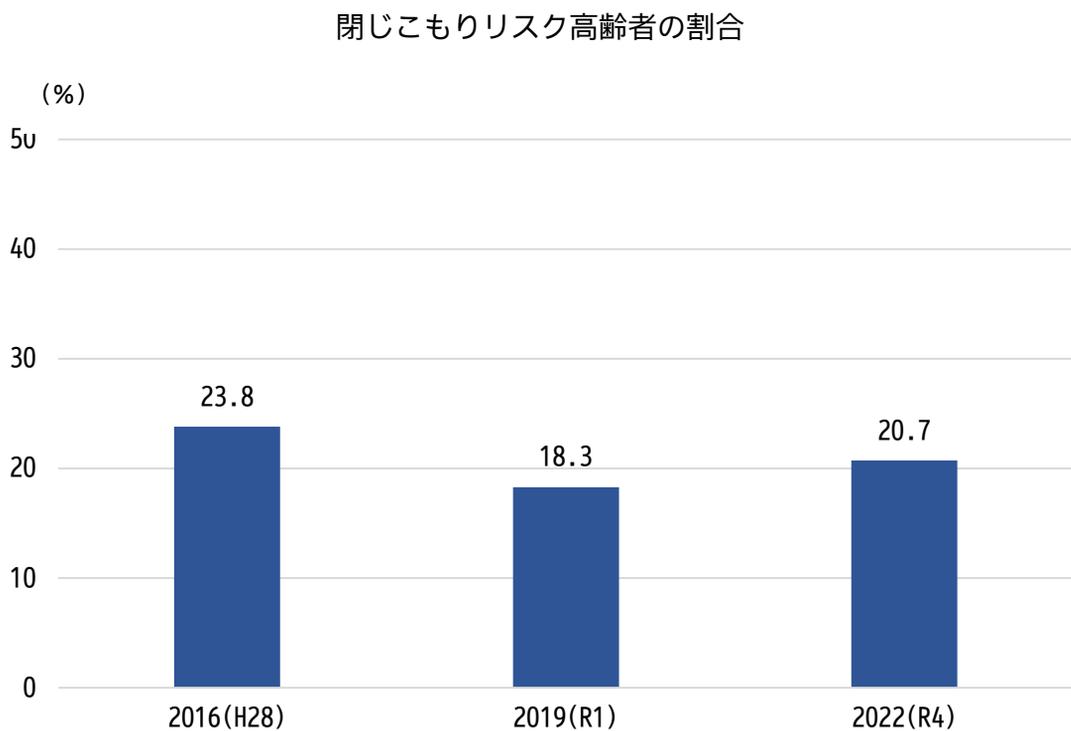
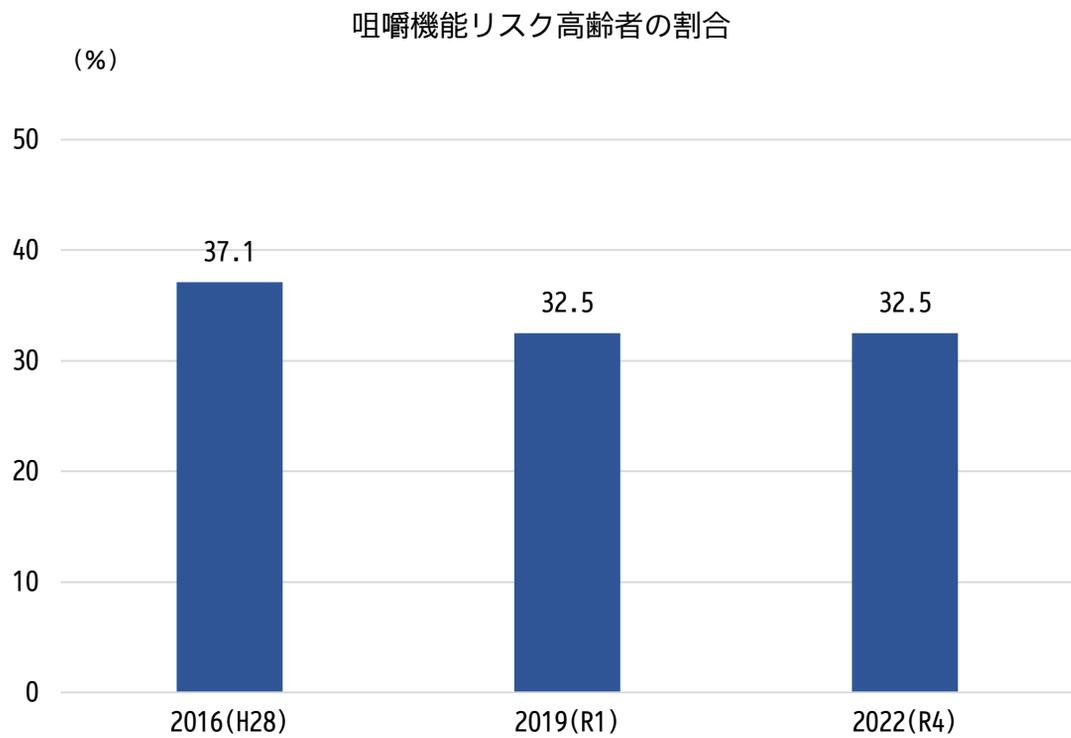
運動器機能リスク高齢者の割合



栄養改善リスク高齢者の割合

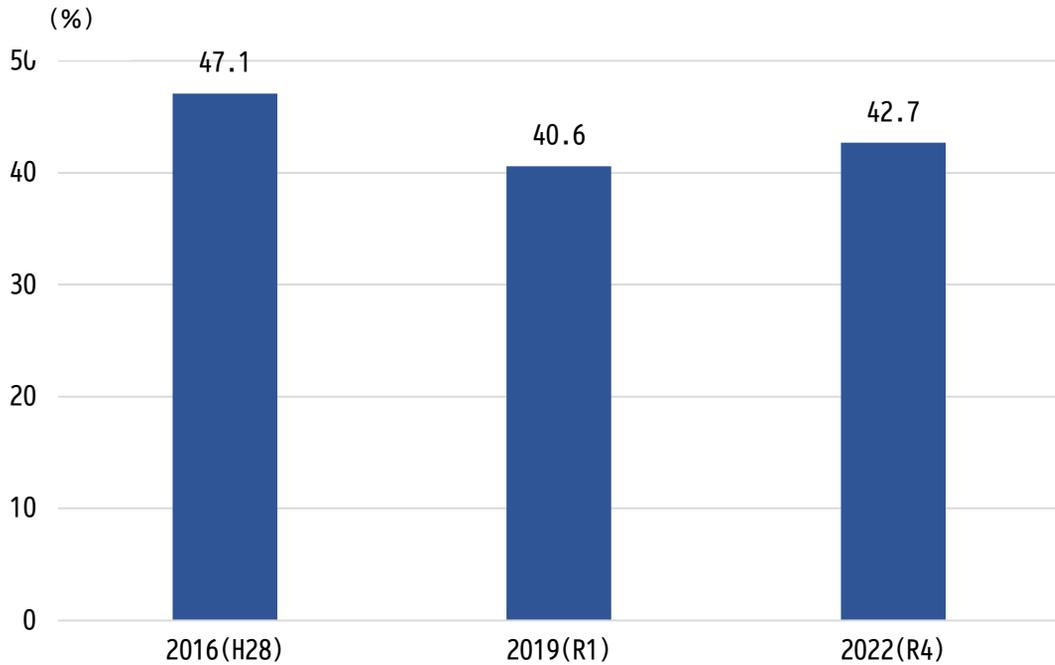


9. 2016年度・2019年度調査結果との比較【暫定版】②

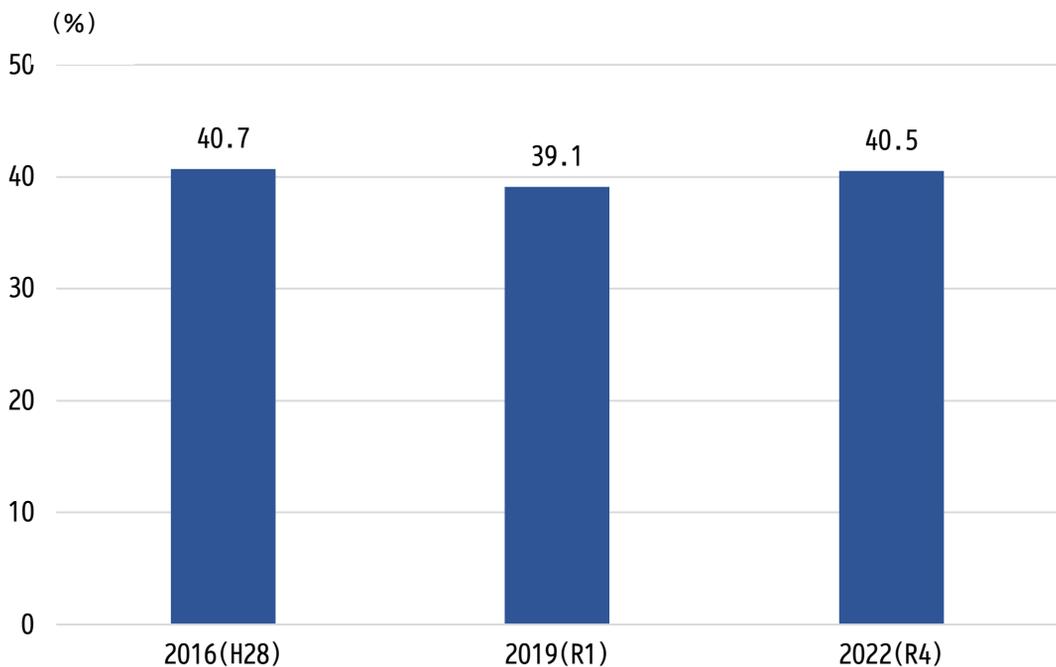


9. 2016年度・2019年度調査結果との比較【暫定版】③

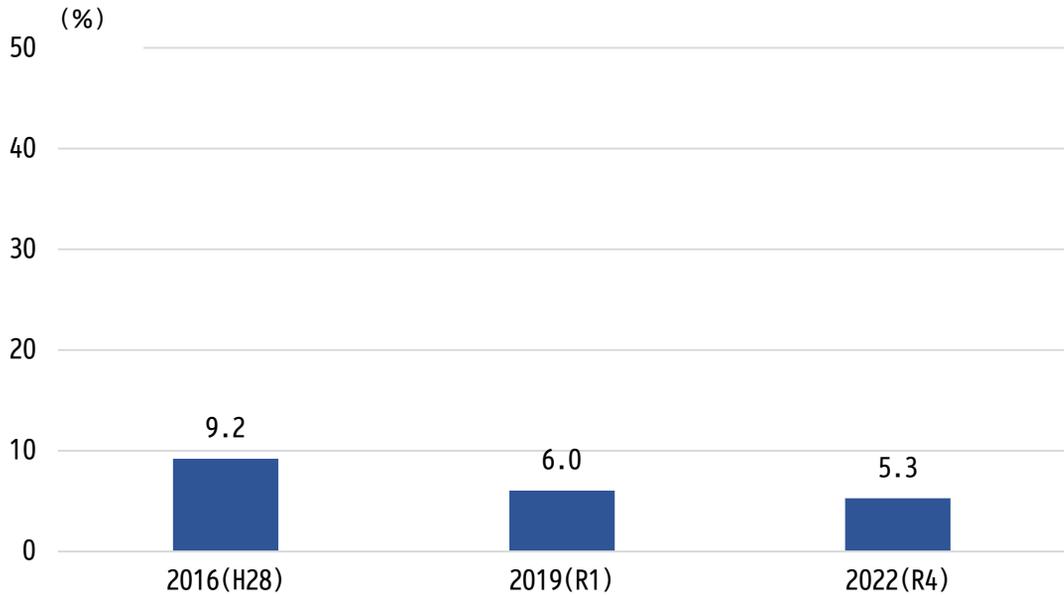
認知症リスク高齢者の割合



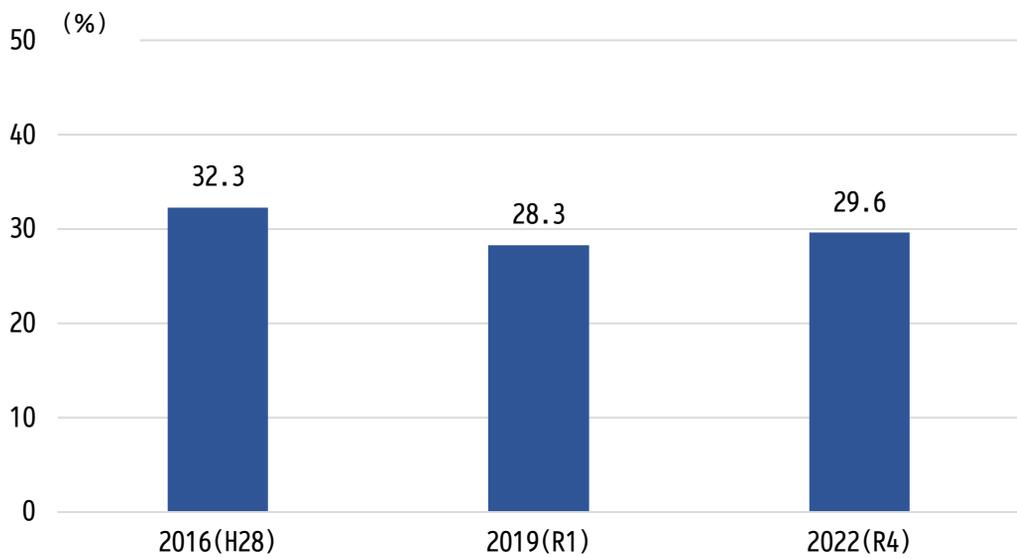
うつリスク高齢者の割合



IADLが低い高齢者の割合



転倒リスク高齢者の割合

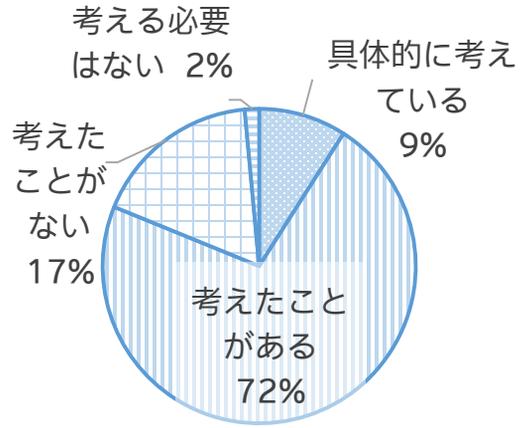


10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について ①

(1) 人生の最終段階における医療・介護について考えたことがありますか

選択肢	回答数
1. 具体的に考えている	159人
2. 考えたことがある	1,266人
3. 考えたことがない	305人
4. 考える必要はないと思ってる	26人

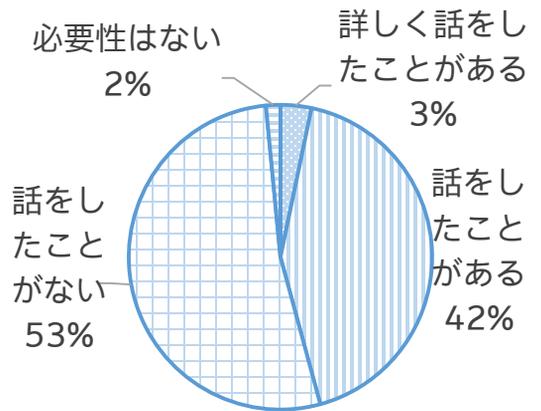
計 1,756人



(2) 人生の最期について、家族等や医療介護関係者と話をしたことはありますか

選択肢	回答数
1. 詳しく話をしたことがある	58人
2. 話をしたことがある	748人
3. 話をしたことがない	929人
4. 話をする必要はないと思っている	27人

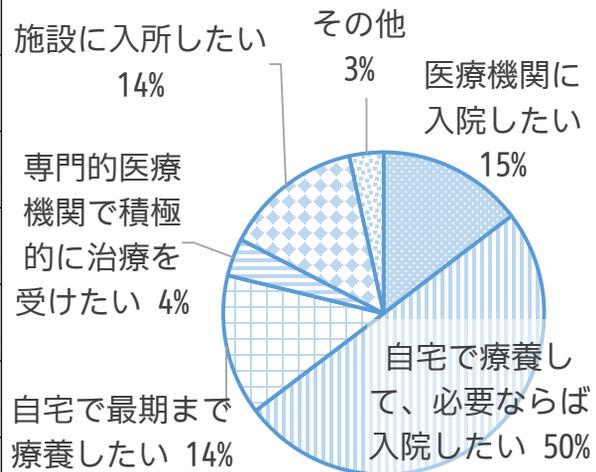
計 1,762人



(3) 人生の最期はどのように迎えたいですか

選択肢	回答数
1. 医療機関に入院したい	256人
2. 自宅で療養して、必要ならば入院したい	873人
3. 自宅で最期まで療養したい	246人
4. 専門的医療機関で積極的に治療を受けたい	66人
5. 施設に入所したい	244人
6. その他	60人

計 1,745人

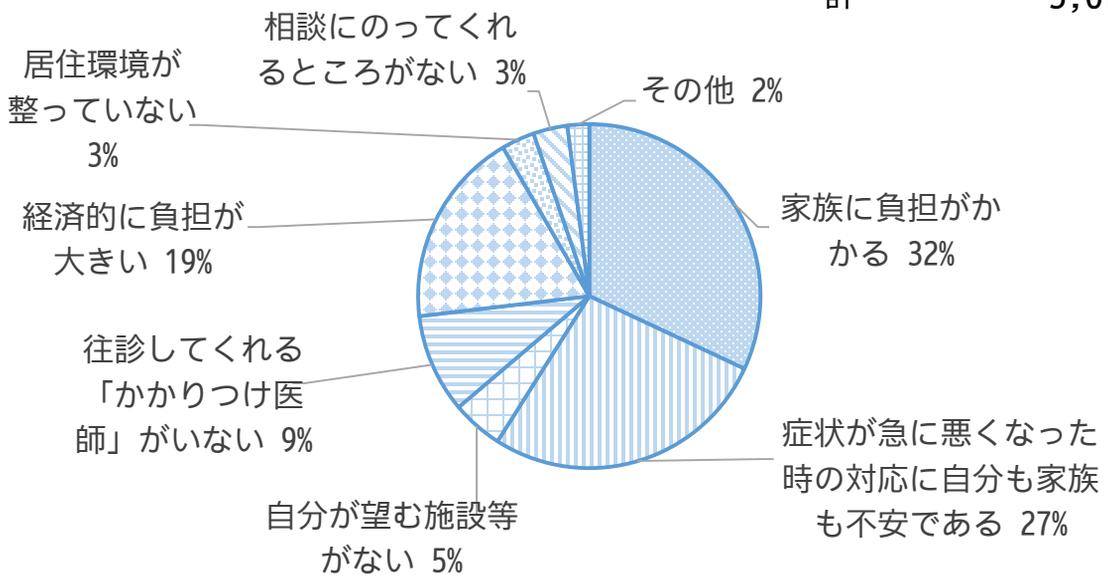


10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について ②

(4) (3) で望んだことで不安に感じていることはなんですか（複数選択）

選択肢	回答数
1. 家族に負担がかかる	981人
2. 症状が急に悪くなった時の対応に自分も家族も不安である	831人
3. 自分が望む施設等がない	148人
4. 往診してくれる「かかりつけ医師」がない	286人
5. 経済的に負担が大きい	567人
6. 居住環境が整っていない	96人
7. 相談にのってくれるところがない	99人
8. その他	63人

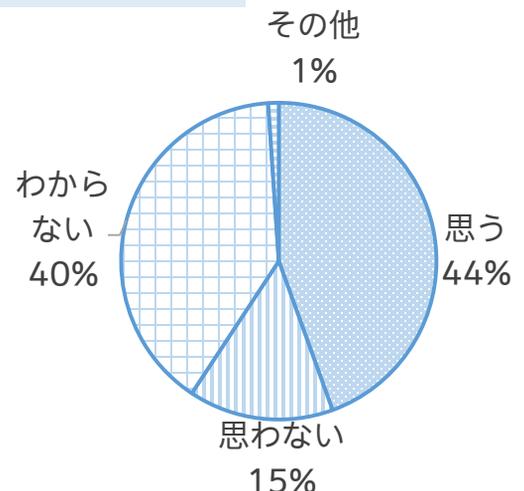
計 3,071人



(5) 万が一に備えて、エンディングノートを作成したいと思いますか

選択肢	回答数
1. 思う	792人
2. 思わない	264人
3. わからない	705人
4. その他	19人

計 1,780人

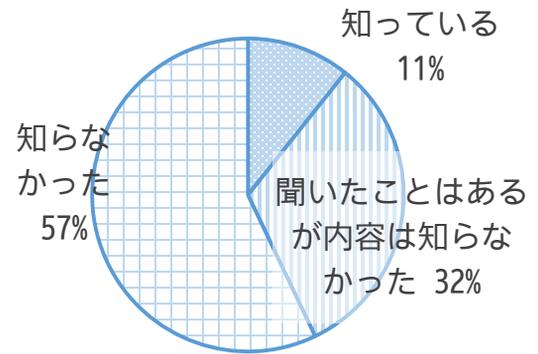


10. 人生の最終段階における医療・介護の在り方について ③

(6) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を知っていましたか

選択肢	回答数
1. 知っている	192人
2. 聞いたことはあるが内容は知らなかった	576人
3. 知らなかった	1,022人

計 1,790人



(7) アドバンス・ケア・プランニング（ACP）は必要と思いますか

選択肢	回答数
1. 必要である	535人
2. どちらかといえば必要である	698人
3. 必要はない	68人
4. わからない	479人

計 1,780人

